

全小家研会報



令和6年度1号 No.165
全国小学校家庭科教育研究会

令和6年9月1日発行 発行人 高野 正之
編集人 酒井 由江
発行所 東京都練馬区春日町1-30-11 (〒179-0074)
練馬区立練馬東小学校内 ☎03-3990-1094

も く じ

・会長挨拶	1
・学習指導要領の「よりよい実施」を目指して	2
・役員 退任挨拶・就任挨拶	4
・令和6年度 事務局	6
・令和6年度 各部事業計画	6
・令和5年度 決算報告・令和6年度会計予算	10
・令和6年度 役員名簿・地方理事名簿	11
・シリーズ「授業」	13
・令和6年度 全国大会 三重大会案内	14
・令和7年度 徳島大会案内	16
・全小家研入会のすすめ	16



「未来を拓く家庭科教育の 実現」に向けて

全国小学校家庭科教育研究会
会長 高野 正之
(練馬区立練馬東小学校 校長)

5月に開催されました第64回理事総会において、加園正子前会長の後任として、会長に就任いたしました高野正之と申します。本部役員、地方理事の方々と力を合わせ、研究会の運営に全力で取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

家庭科の学びが目指すのは、生活する側から社会の問題を見つめ、課題を把握して改善や解決を図ることであり、「よりよい生活を創造する」ことです。

本研究会では、1,000名を超える会員の皆様とともに、研究を通して学びを深めています。各県で進めている研究について情報交換ができる、春の理事総会や秋の常任理事会は、とても貴重な機会となっています。このつながりを広げ、強めていきたいと思っております。

今回の理事総会では、昨年度の全国大会神奈川大会について、実行委員長の本庄則子理事から報告がありました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、子供や教員の「学びをとめない」を合い言葉に、継続して研究に取り組んでいただき、学びが深まりました。4年ぶりとなる制限を設けない参集型での大会となりましたが、関係の皆様のご尽

力により無事に運営ができました。

11月22日(金)には、全国大会三重大会が開催されます。「ともに生きる生活者の育成をめざして」を研究主題に掲げ、会員数が少ないなか、創意工夫をして準備にあたってくださっております。教員不足、働き方改革が叫ばれるなか、大会運営については、今後見直しを図っていく必要性を感じています。

文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官の熊谷有紀子様からは、

「子供が真剣になったり、笑顔になったりする表情を見られるのは、家庭科のよいところである。」

との講話がありました。これからも、子供の姿を思い浮かべながら、日常の授業実践を大切にし、学び合っていきたいと思っております。

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育の実現」に向け、皆様には大変お世話になります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

お知らせとお願い

※全小家研のHPを閲覧いただき、ご活用ください。令和6年度の全国調査は、昨年に続きHPを活用して実施いたします。調査回答は、HPからダウンロードできるようにいたします。

全国小学校家庭科教育研究会 HP
サーバー ID : zenkokukatei
サーバーパスワード : Zenshoka2021

学習指導要領の「よりよい実施」を目指して



文部科学省初等中等教育局
教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所
教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
熊谷 有紀子

日頃より、子供たちの資質・能力の育成のために、熱心にご指導いただいている先生方に心より感謝申し上げます。

本研究会の皆様には昨年度に引き続きお世話になります。よろしく願いいたします。

子供が主役になる授業をしたい

私が参観させていただいた授業の一場面を紹介します。この授業のねらいは「課題解決に向けて、計画に沿って実践した子供が、計画を見直し、さらによりよい計画に改善する」でした。

紹介するのは、グループ内で各自の計画を発表し合い、互いの計画に対して「もっとよい計画にするために、アドバイスを送る」という場面です。

A児:(しばらく考え込んだ後、つぶやく)「Bさんへのアドバイス…アドバイス、することないなあ…」

私は、このA児の「アドバイス、することないなあ」というつぶやきが気になり、授業後、授業を行った先生にA児の様子を伝えました。すると先生は、「実は、他のグループでも同じような子供の様子が見られました。私は(家庭科の授業における問題解決的な学習の学習過程として)『評価・改善』を行うようにしてきました。でも、今日の授業で『評価・改善』を行う必要感があつたのは教師である私であって、子供には『評価・改善』を行う必要感はなかったのだと思いました。もっと子供が主役になる授業ができるようになりたいです。」と語ってくれました。

私は、この先生が語った「子供が主役になる

授業」をつくるには、家庭科における資質・能力の育成に向けて、子供の主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが重要であると考えます。そのために教師は、日々、自らの指導を振り返り、さらなる指導の充実・改善に向けて取り組む必要があるのではないのでしょうか。

「よりよい実施」に向けた成果と課題

各校では、学習指導要領に示されている家庭科の目標や内容の実現に向け、日々の授業改善を進めていることと思います。

そこで昨年度、各地区の研究会や授業を参観させていただいた様子から把握した、家庭科における資質・能力の育成に向けた授業改善において、成果と課題について整理します。

〈成果〉

成果として挙げられるのは、子供たちに課題を解決する力を養うために、問題解決的な学習を効果的に取り入れた指導を行っているという点です。

家庭科では、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けると共に、知識及び技能を活用して、身近な生活の課題を解決したり、家庭や地域で実践したりできるようにすることを目指しています。そのため、家庭科の学習では、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れることが重視されています。さらに、問題解決的な学習により課題を解決する力を養うために、「日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し」と、子供が自ら課題を設定する学習過程が明確に示されています。そこで、いかに子供が課題を設定できるようにするか、という点から授業改善を図っている先生方が多いと感じます。

授業改善の成果として、教師が、「子供にこのような課題を設定できるように、このような手立てを講じてみよう」と考えて実践した授業では、子供が「課題を解決してみたい」と課題の解決に向けて意欲的に学習に取り組む姿が見

られるようになったのではないのでしょうか。

子供が課題を解決できた達成感や、実践する喜びを味わうことができれば、家庭科が目指す「生活をよりよくしようと工夫する資質・能力」の育成に必ずつながっていきます。ぜひ、今後も問題解決的な学習を積極的に取り入れ、家庭科における資質・能力の育成に向けた実践を積み重ねていただくようお願いいたします。

〈課題〉

前述のとおり、家庭科では、問題解決的な学習による指導が効果的に行われるようになってきています。それゆえ、課題として一連の学習過程の各段階における学習活動が、子供にとって課題を解決するために必要な活動になっているか、という点から題材を見直す必要があることが分かってきました。これは、教師はよかれと思って計画した学習活動であっても、子供にとっては課題の解決に必要な学習活動が行われている可能性があるということを意味しています。この点を意識して授業改善に取り組むことで、問題解決的な学習の質が向上し、より一層「子供が主役になる授業」が展開されることが期待できます。

家庭科で示されている一連の学習過程は、「生活の課題発見」「解決方法の検討と計画」「課題解決に向けた実践活動」「実践活動の評価・改善」の四つの段階で示されています。（この学習過程は、あくまでも例として示されています。）

例えば授業中、次のような子供の姿が見られたということはないのでしょうか。

- 「生活の課題発見」の場面で
 - ・子供が解決したいと願い、設定しようとしている課題が、教師が構想していた課題とずれていた。
- 「解決方法の検討と計画」の場面で
 - ・（子供が考えた計画について）何をどのように検討（修正・改善）したらよいか困っている子供が多かった。

- 「課題解決に向けた実践活動」の場面で
 - ・週末、家庭で実践活動を行い、その様子を実践レポートにまとめてくるよう伝えましたが、実践し、まとめてくる子供が少なかった。
- 「実践活動の評価・改善」の場面で
 - ・グループごとに実践を発表し合い、改善点を考えるよう促したが、活動が停滞するグループがあった。

ここに示した子供の姿からは、一連の学習過程として示されている四つの段階に沿って授業を行いさえすれば、子供に課題を解決する力が身に付くというわけではない、と捉えることができるのではないのでしょうか。

このように、子供と教師の意識のずれに違和感を覚えたり、子供の学習活動が停滞していると感じたりするようなことがある場合は、「授業がだめだ」と捉えるのではなく、「授業改善のチャンス」と前向きに捉えていただくことが大切だと考えています。

おわりに

先日、ある学校で研究会に向けた授業づくりに携わらせていただきました。そこで出会った先生の姿を紹介します。

この頃、家庭科の研究には関わらなくていいかな、と思っていましたが、今日は久しぶりに参加して本当によかったです。授業について、「私だったらどうするか」と考えることができて楽しかったです。

研究や授業改善を行っていると、改めて家庭科の楽しさに気付くこともあります。逆に、苦勞したり悩んだりしたりすることもあると思います。しかし、私たちの研究や授業改善の先には、子供の「先生！家でもやってみたよ！」などといった、子供の姿が待っているはずです。このような子供の姿を見るために、小さな一歩でもいいので、その歩みを止めることなく、研究や授業改善に取り組まれることを期待しています。

役員 退任・就任の挨拶

退任の挨拶

前会長 加園 正子

私は、令和2年度から4年間、本会会長を務めさせていただきました。その間に、東京大会・宮城大会・京都大会・神奈川大会の4回の全国大会を開催いたしました。折しも、東京大会・宮城大会・京都大会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、全国大会開催地の感染状況をみながら、参集の仕方を制限したり、オンライン配信等によるリモート開催にしたりと、密になることを避けた開催の仕方を試みることに致しました。全国大会開催地の先生方や私たち事務局にとっても、今までに経験のない初めてのことの連続でした。そのため、事務局としても開催地の皆様には、十分な支援に至らず、お手数をおかけしたことが多々あったこととお詫びいたします。

コロナ禍が収束した昨年度。第60回全国大会・神奈川大会では、横浜市を会場として、参集型の研究大会に戻り、全国から家庭科教育を推進くださる多くの先生方にご参会いただきました。記念すべき60年の節目の全国大会を盛況のうちに終えることができましたのも、神奈川県のお力添えのおかげです。

さらに、充実した全国大会開催を目指して、熊谷有紀子教科調査官・歴代の教科調査官の先生方から温かいご指導をいただきながら、皆さんと一緒に「学びで絆を深めた」大会運営をさせていただけたことに変感謝いたします。

全国大会開催が厳しい状況であっても、「家

庭科の学びを止めない」「家庭科教育のバトンを繋げる」ことを合言葉に、創意工夫しながら、大会開催に臨みました。特に、家庭科教育の推進役としての熱意と情熱をもって学びのバトンを繋げてくださった開催地の先生方との出会いが、ピンチをチャンスに変える原動力になりました。本当にありがとうございました。

5月の理事総会で皆さんからご承認いただきました高野正之新会長に引き継ぎ、私は副会長として高野会長を支えて参ります。本会がこのように長く続いておりますのも、文部科学省並びに本会の顧問の皆様はじめ、家庭科教育に深くかかわる常任理事・地方理事の皆様方のご尽力のおかげと、心より御礼申し上げますと共に、今後ともよろしく願い申し上げます。

退任の挨拶

前副会長 松橋 尚子

令和3年度より副会長を務めさせていただきました。感染症への対応が残り日々多忙を極める中でも、家庭科教育の灯を消さないよう多くの方々のご尽力くださっていることを強く感じた3年間でした。多くの仲間と、学び多き日々をいただいたことに心より感謝いたします。

今年度は庶務部長を務めさせていただきます。理事の皆様には様々ご連絡をさせていただくようになると思います。家庭科教育の充実発展のために微力ながら全力を尽くしてまいりますので、どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

退任の挨拶

前副会長 **本庄 則子**

秋たけなわの神奈川県横浜市において、令和5年10月27日、第60回全国小学校家庭科教育研究会全国大会神奈川大会を無事開催できましたこと、全国の皆様にあらためてお礼申し上げます。

神奈川大会は数年ぶりに制限のない大会となり、家庭科教育の重要性やすばらしさ、何より授業を通して家庭科を語り合える喜びを実感することができました。全国各地の実践発表からも多くを学ばせていただきました。今後も日常生活の中から課題を見いだして様々な解決方法を考え実践している子供の姿や家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する子供の姿を大切にし、引き続き研究を深めてまいります。

神奈川大会開催に際しご指導ご高配いただきました、前会長 加園 正子 様をはじめ、関係の皆様にも心より感謝申し上げますと共に、研究会のさらなる発展と令和6年度開催、三重大会のご盛会を祈念し、退任の挨拶といたします。

就任にあたって

副会長 **金城 保代**

このたび、沖縄県代表として、副会長に就任いたしました金城です。5月に理事総会に出席し、全国の家庭科教育に取り組んでいる先生方とお会いすることができました。皆様の熱意溢れるお話を伺い、大変元気をいただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

コロナ禍において教育活動が制限される中で、皆様が創意工夫を凝らし、家庭科教育の

実践に努められたことに深く敬意を表します。現在、制限が緩和され、私たちは、県内の家庭科研究をさらに発展させるために、8名の会員と共に研究を進めてまいります。

令和8年度には、全国小学校家庭科教育研究会および九州地区小学校家庭科研究大会が沖縄県で開催される予定です。子供たちが生活をよりよくするために工夫する力を育むことを目指し、研究や準備を進めているところです。

今後とも、変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

就任にあたって

会計監査 **川越 浩子**

岩手県代表として会計監査を務めさせていただきますことになりました。5月に行われた理事会では、全国の理事の皆様との情報交換等を通して家庭科教育への思いを新たにすることができました。ありがとうございます。

岩手県では、「い・わ・て・い・い・生活」
[い]だく・[わ]かる・[て]きる・[い]かす・[い]きるを
研究の視点に据えて、家庭・地域とのかかわりを深めながら自分の成長を実感し、よりよい生活を目指す子供の育成に向けて研究に取り組んでいます。令和10年度には、42年ぶりに全国小学校家庭科教育研究大会が岩手県盛岡市で開催される予定です。全国の皆様と共に学び合い、充実した研修の機会になるよう、微力ながら尽力してまいりたいと考えています。

今後とも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 全小家研 事務局

No.	分掌	氏名	所属
1	会長	高野 正之	練馬区立練馬東小学校 〒179-0074 練馬区春日町1-30-11 takano.masayuki@nerima-ky.ed.jp TEL 03-3990-1094 (校長室) FAX 03-3577-7989
2	副会長	加園 正子	練馬区立南田中小学校 〒177-0035 練馬区南田中5-15-37 kasono.masako@nerima-ky.ed.jp TEL 03-3997-1147 (校長室) FAX 03-3997-2474
3	部長	松橋 尚子	大田区立嶺町小学校 〒145-0076 大田区田園調布南6-10 minemachi-es1@ota-school.ed.jp TEL 03-3758-2277 FAX 03-3758-2279
4	副部長	川勝 肇恵	板橋区立富士見台小学校 〒174-0063 板橋区前野町1-10-1 kawakatsu.hatsue@city.itabashi.tokyo.jp TEL 03-3965-5078 (校長室) FAX 03-3960-9664
5	副部長	落合由美子	江戸川区立西小松川小学校 〒132-0031 江戸川区松島3-30-6 yumiko-ochiai-2@city.edogawa.tokyo.jp TEL 03-5662-3865 (校長室) FAX 03-5662-3865
6	部長	内田かほ里	東久留米市立第六小学校 〒203-0003 東久留米市金山町1-17-1 dai6-e-head@jcom.home.ne.jp TEL 042-471-5370 FAX 042-472-7984
7	副部長	横瀬 敬子	練馬区立関町小学校 〒177-0051 練馬区関町北3-23-34 yokose.keiko@nerima-ky.ed.jp TEL 03-3929-1301 (校長室) FAX 03-3929-9055
8	部長	酒井 由江	豊島区立清和小学校 〒170-0002 豊島区巢鴨3-14-1 yoshie-e01-sakai@city.toshima.ed.jp TEL 03-3940-6029 (校長室) FAX 03-5394-1003
9	副部長	阪田 敦子	世田谷区立八幡小学校 〒158-0085 世田谷区玉川田園調布2-17-15 kou036@setagaya.ed.jp TEL 03-3721-8992 (校長室) FAX 03-3721-8990
10	部長	本庄 則子	横浜市立岸谷小学校 〒230-0078 横浜市鶴見区岸谷1-6-1 no02-honjo@city.yokohama.jp TEL 045-581-3301 FAX 045-585-9473
11	副部長	佐藤 和枝	東村山市立秋津小学校 〒189-0001 東村山市秋津町3-48-1 kazue-sato@higashimurayama.ed.jp TEL 042-391-8114 FAX 042-397-5404
12	副部長	白井 美佳	東久留米市立南町小学校 〒203-0031 東久留米市南町3-2-23 minami-e-head@jcom.home.ne.jp TEL 042-461-2662 FAX 042-463-4927
13	部長	岩崎 直美	町田市立高ヶ坂小学校 〒194-0014 町田市高ヶ坂6-7-1 e-kogasaka-p@gs.machida-ky.ed.jp TEL 042-725-4295 FAX 042-721-4268
14	副部長	村上 律子	文京区立青柳小学校 〒112-0012 文京区大塚5-40-18 aoayagi.ps@bunkyo-ky.ed.jp TEL 03-3947-2473 (校長室) FAX 03-3947-2045
15	部長	石神みさ都	文京区立指ヶ谷小学校 〒112-0001 文京区白山2-28-4 TEL 03-3811-6005 FAX 03-5689-4548
16	部長補佐	奥澤 弘子	江戸川区立南篠崎小学校 〒133-0065 江戸川区南篠崎町4-27-5 TEL 03-3679-0441 FAX 03-3676-1934

令和6年度 庶務部 事業計画

1 事業内容

- (1) 常任理事会・理事総会に関すること
- (2) 全国大会開催に関すること
- (3) 役員会・部長副部長会及び事務局会議の開催に関すること
- (4) その他、庶務全体に関わること

2 事業報告

- 4月 ・全国常任理事・地方理事名簿作成、第64回理事総会参加確認
・各部の年間事業確認、第64回理事総会資料作成
- 5月 ・第64回理事総会の運営
・理事総会資料の送付(欠席の地方理事)
- 6月 ・地方理事名簿の修正
・三重大事務局と連絡調整
- 7月 ・全国大会の進行状況確認
・常任理事会の計画、参加の確認
- 8月 ・全国大会の準備(最終案内等の発送)
・夏季事務局研修会
講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 熊谷有紀子 先生
- 9月 ・常任理事会準備(資料等の現地発送)、全国大会最終打合せ
- 11月 ・常任理事会
・第61回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大
- 12月 ・全国大会反省、常任理事会資料の送付(欠席の常任理事、地方理事)
- 2月 ・次年度地方理事の調査依頼、次年度理事総会案内の送付
- 3月 ・令和7年度 理事総会計画・準備
・次年度組織の確認、引継ぎ

3 全国大会

- 第61回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大 期日：令和6年11月22日(金)
・常任理事会 前日11月21日(木) ※レセプション実施
参加対象：役員、常任理事、ブロック大会開催県の地方理事、参加を希望する地方理事
※各地方・地区の発表会の日程は、全国大会の開催日を選んでください。

4 その他

- ・役員・地方理事名簿の訂正がある場合は、6月7日(金)までにお知らせください。9月発行予定の会報に掲載します。【報告先】庶務部長 松橋 尚子(大田区立嶺町小学校長) メールアドレス：minemachi-es1@ota-school.ed.jp
- ・令和7年度の総会・常任理事会等の準備のため、2月に各種連絡をします。期日までに回答をお願いいたします。
- ・令和7年度理事総会の開催予定日：令和7年5月16日(金)

令和6年度 渉外部 事業計画

1 事業内容

- (1) 常任理事会・理事総会に関すること
- (2) 全国大会開催に関すること
- (3) 役員会・部長副部長会及び事務局会議の開催に関すること
- (4) ホームページの維持・更新に関すること
- (5) その他、渉外部全体に関わること

2 事業報告

- 4月 ・第64回理事総会資料の作成
- 5月 ・第64回理事総会
- 6月 ・ホームページの更新
- 7月 ・全国調査依頼ホームページへの掲載
- 8月 ・常任理事会、全国大会案内のホームページ更新
・夏季事務局研修会 講師：文科省 教科調査官 熊谷有紀子 先生
- 9月 ・常任理事会資料の作成及び準備
- 10月 ・常任理事会準備 全国大会 最終打合せ
- 11月 ・常任理事会
・第61回全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大
- 12月 ・ホームページ更新
- 3月 ・次年度 理事総会案内のホームページ更新

3 全国大会

- 第61回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大 期日：令和6年11月22日(金)
・常任理事会は、前日11月21日(木)
役員、部長、副部長で準備内容の確認
教育委員会、会場校、関係諸機関への挨拶・後援の依頼

4 その他

- ・ホームページを活用した全国調査を実施。
- ・ホームページにリンクを張ることについて
※バナーを右側においたり、お知らせコーナーにURLを入れたりしてリンクを張る。
※ホームページ作成委託業者(株式会社放送映画製作所)との窓口は渉外担当

全国大会開催地・研究発表県一覧

回	年度	地区	開催地	開催年月日	研究領域	研究発表地区								数	公開 投票
						東京都	北海道東北	近畿	関東甲信越	東海北陸	中国四国	九州			
35	平成10	九州	大分	10. 10. 29~30	家族の生活と住居	東京都	山形県	神戸市	新潟県	岐阜県	鳥取県	***	6	○	
36	11	東京	東京	11. 10. 21~22	衣を中心として	東京都	北海道	大阪市	山梨県	福井県	香川県	大分県	6	○	
37	12	北海道・東北	青森	12. 10. 12~13	食を中心として	東京都	***	大阪府	千葉県	静岡県	鳥取県	熊本県	6	○	
38	13	近畿	兵庫	13. 11. 1~2	家住を中心として	東京都	秋田県	***	埼玉県	石川県	徳島県	佐賀県	6	○	
39	14	関東・甲信越	茨城	14. 10. 24~25	A (創造的な家庭生活へのかかわり)	東京都	岩手県	和歌山県	***	愛知県	山口県	福岡県	6	○	
40	15	東海・北陸	岐阜	15. 10. 9~10	B (人との豊かなかかわり)	東京都	福島県	滋賀県	群馬県	***	高知県	大分県	6	○	
41	16	中国・四国	島根	16. 10. 21~22	C (物との主体的なかかわり)	東京都	山形県	京都市	神奈川県	富山県	***	宮崎県	6	○	
42	17	九州	長崎	17. 10. 27~28	題材開発・学習活動の工夫・ 家庭との連携	東京都	宮城県	京都府	茨城県	福井県	愛媛県	***	6	○	
43	18	東京	東京	18. 11. 24	衣食住家庭	東京都	青森県	兵庫県	栃木県	静岡県	岡山県	長崎県	6	○	
44	19	北海道・東北	北海道	19. 10. 18~19	衣食住家庭	東京都	***	奈良県	横浜市	石川県	香川県	沖縄県	6	○	
45	20	近畿	大阪市	20. 10. 31	衣食住家庭	東京都	岩手県	***	長野県	愛知県	広島県	鹿児島県	6	○	
46	21	関東・甲信越	新潟	21. 11. 13	A/B/C/D	東京都	秋田県	神戸市	***	名古屋市	徳島県	佐賀県	6	○	
47	22	東海・北陸	福井	22. 11. 11~12	A/B/C/D	東京都	山形県	大阪市	神奈川県	***	山口県	福岡県	6	○	
48	23	中国・四国	高知	23. 10. 28	A/B/C/D	東京都A	青森県B	大阪府C	千葉県D	岐阜県A	***	大分県B	6	○	
49	24	九州	佐賀	24. 11. 8~9	A/B/C/D	東京都B	北海道C	和歌山県D	埼玉県A	三重県B	島根県C	***	6	○	
50	25	東京	東京	25. 11. 1	A/B/C/D	***	宮城県D	滋賀県A	栃木県B	愛知県C	愛媛県D	宮崎県A	6	○	
51	26	北海道・東北	秋田	26. 11. 20~21	A/B/C/D	東京都C	***	京都市B	新潟県C	岐阜県D	鳥取県A	熊本県B	6	○	
52	27	近畿	和歌山	27. 11. 6	A/B/C/D	東京都D	岩手県A	***	横浜市D	愛知県A	香川県B	長崎県C	6	○	
53	28	関東・甲信越	山梨	28. 11. 11	A/B/C/D	東京都A	山形県B	京都府C	***	富山県B	岡山県C	沖縄県D	6	○	
54	29	東海・北陸	石川	29. 11. 16. 17	A/B/C/D	東京都B	福島県C	兵庫県D	茨城県A	***	徳島県D	鹿児島県A	6	○	
55	30	中国・四国	岡山	30. 11. 30	A/B/C	***	青森県C	奈良県A	長野県B(衣)	石川県B(住)	***	宮崎県B(食)	5	○	
56	令和元(31)	九州	熊本	元. 11. 8	A/B/C	***	北海道A	神戸市B(食)	群馬県B(住)	福井県C	高知県B(衣)	***	5	○	
57	2	東京	東京	2. 11. 27	A/B/C	***	岩手県A	大阪市B(衣)	新潟県C	三重県A	山口県B(食)	熊本県B(住)	6	○	
58	3	北海道・東北	宮城	3. 10. 22	A/B/C	東京都C	***	大阪府A	茨城県A	静岡県B(衣)	広島県B(食)	大分県B(住)	6		
59	4	近畿	京都府	4. 11. 11	A/B/C	東京都A	秋田県A	***	埼玉県B(衣)	愛知県B(食)	香川県B(住)	佐賀県C	6	○	
60	5	関東・甲信越	神奈川	5. 10. 27	A/B/C	東京都B(衣)	山形県B(食)	和歌山県B(住)	***	名古屋市A	島根県C	長崎県A	6	○	
61	6	東海・北陸	三重	6. 11. 22	A/B/C	東京都C	福島県B(衣)	滋賀県B(住)	群馬県C	***	高知県A	鹿児島県B(食)	6	○	
62	7	中国・四国	徳島	7. 11. 21	A/B/C	***	青森県A	京都市C	栃木県B(住)	三重県B(食)	***	宮崎県B(衣)	5	○	
63	8	九州	沖縄	8. 11.	A/B/C	***	北海道B(衣)	京都府A	山梨県B(食)	岐阜県B(住)	鳥取県C	***	5	○	
64	9	東京	東京		A/B/C	***	宮城県C	兵庫県B(食)	千葉県B(衣)	石川県A	愛媛県B(住)	***	5	○	
65	10	北海道・東北	岩手		A/B/C		***	奈良県B(衣)	新潟県B(食)	福井県B(住)	広島県A	C	5	○	
66	11	近畿	大阪府		A/B/C		山形県B(住)	***	茨城県C	愛知県B(衣)	岡山県B(食)	A	5	○	
67	12	関東・甲信越	長野		A/B/C		福島県A	神戸市C	***	浜松市B(住)	香川県B(衣)	B(食)	5	○	
68	13	東海・北陸	静岡		A/B/C		秋田県B(食)	大阪市A	埼玉県C	***	山口県B(住)	B(衣)	5	○	
69	14	中国・四国	鳥取		A/B/C		青森県B(衣)	大阪府B(食)	群馬県A	静岡県C	***	B(住)	5	○	
70	15	九州	鹿児島		A/B/C		北海道C	和歌山県B(食)	神奈川県B(住)	富山県B(衣)	島根県A	***	5	○	

地区	都道府県名	全国大会開催年度					
		平成18年	平成25年	令和2年	令和9年	※東京都 単独開催最終年度	
1 東京	東京都	平成18年	平成25年	令和2年	令和9年	※東京都 単独開催最終年度	
2 北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	平成19年	平成26年	令和3年	令和10年	令和16年 令和22年	
3 近畿	滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 兵庫県 神戸市 奈良県 和歌山県	平成20年	平成27年	令和4年	令和11年	令和17年 令和23年	
4 関東・甲信越	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 横浜市 山梨県 長野県 新潟県 東京都(R13~)	平成21年	平成28年	令和5年	令和12年	令和18年 令和24年	
5 東海・北陸	富山県 石川県 福井県 静岡県 愛知県 名古屋市 岐阜県 三重県	平成22年	平成29年	令和6年	令和13年	令和19年 令和25年	
6 中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県	平成23年	平成30年	令和7年	令和14年	令和20年 令和26年	
7 九州	福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	平成24年	平成31年	令和8年	令和15年	令和21年 令和27年	

令和6年度 研究紀要部 事業計画

1 事業内容

- (1) 全国大会三重大会研究発表に関すること
- (2) 全国大会三重大会・地区発表一覧の作成
- (3) 研究紀要 地方発表原稿取りまとめ
- (4) 各都道府県研究状況の報告（会報にて）

2 事業報告

- 4月・ 令和6年度 第64回理事総会開催準備
- 5月・ 全国大会三重大会研究紀要の執筆要項及び原稿様式確認
 - ・ 各発表地区担当者一覧表作成依頼
 - ・ 地区研究発表理事・担当者への研究紀要原稿依頼
- 6月・ 地区研究発表理事・担当者からの研究紀要原稿取りまとめ
- 7月・ 教科調査官への研究紀要原稿指導依頼
- 8月・ 地区研究発表理事・担当者との調整
- 9月・ 研究紀要原稿校正 全国大会三重大会への提出
 - ・ 発表原稿及びプレゼンテーションデータの取りまとめ
- 11月・ 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大会
- 12月・ 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大会のまとめ
 - ・ 研究紀要部について、次年度への引き継ぎ事項確認
- 3月・ 令和6年度事業報告・令和6年度事業計画（案）作成

3 全国大会

- 常任理事会
 - 期日：令和6年11月21日（木）
 - 会場：亀山市文化会館
- 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会三重大会
 - 期日：令和6年11月22日（金）
 - 会場：午前【公開授業・分科会】

亀山市立亀山西小学校・亀山市文化会館
午後【全体指導】

亀山市文化会館

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

熊谷有紀子 氏

4 全国大会での地区研究発表内容の割り振り

①東 京	(C)消費生活と環境
②北海道・東北：福島県	(B)衣食住の生活(衣)
③近 畿：滋賀県	(B)衣食住の生活(住)
④関東・甲信越：群馬県	(C)消費生活と環境
⑤中国・四国：高知県	(A)家族・家庭生活
⑥九州：鹿児島県	(B)衣食住の生活(食)

5 今後の地区研究発表内容の割り振り

【令和7年度】

担当地区	A	B	C
北海道・東北（青森県）	○		
近 畿（京都市）			○
関東・甲信越（栃木県）		○住	
東海・北陸（三重県）		○食	
九 州（宮崎県）		○衣	

【令和8年度】

担当地区	A	B	C
北海道・東北（北海道）		○衣	
近 畿（京都府）	○		
関東・甲信越（山梨県）		○食	
東海・北陸（岐阜県）		○住	
中国・四国（鳥取県）			○

令和6年度 調査研究部 事業計画

1 事業内容

全国規模で調査を実施し、「全国調査のまとめ」60号を発行する。

2 事業計画

- 5月・第64回理事総会にて全国調査の調査項目・実施方法について提案
- 7月・調査用紙および集計用ファイルをホームページ上に掲載
- 9月・令和5年度調査結果の考察と冊子原稿作成、印刷発注
- 11月・全国大会三重大会全体会にて報告と「全国調査のまとめ」60号の配布
 - ・常任理事会にて令和6年度全国調査への協力依頼
- 12月・全国調査回答締め切り
- 1月・令和6年度全国調査の集計

3 全国調査について

(1) 目的

全国各都道府県市の第5・6学年児童の家庭科学習や家庭生活に関する意識や実態、並びに家庭科の学習指導、家庭科室の施設・設備の充実状況、家庭科学習の指導状況を調査し、家庭科教育の充実・発展に役立てるため、会員に提供する。

(2) 調査内容

- ・調査Ⅰ：第5・6学年児童の家庭科学習及び家庭生活に関する調査
- ・調査Ⅱ：家庭科の学習指導に関する調査
- ・調査Ⅲ：家庭科の指導状況に関する調査
- ・調査Ⅳ：家庭科室の状況と教材の整備等に関する調査

(3) 調査・提出方法

① 調査用紙・集計用ファイル

調査用紙および集計用ファイルは常任理事会承認後、7月を日途にホームページに掲載する。各地区でダウンロードして使用する。

② 実施時期

当該年度の指導が反映するよう、10月以降を想定している。事務局への回答締め切りは、12月末とする。

③ 回答方法

集計用ファイルのファイル名を指定の方法で変更し、電子メールに添付して、調査研究部長まで送信する。

内田 かほ里（東久留米市立第六小学校長）
dai6-e-head@jcom.home.ne.jp

④ 実施方法

調査Ⅰは、地方理事が5校を抽出。1校につき、5・6年の男女各10名で、計40名の調査依頼をする。5校の調査総数は5年100名、6年100名の計200名とする。調査Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは、地方理事が10校を抽出し、家庭科指導教員（10名）を対象に調査を依頼する。

令和6年度 広報部 事業計画

1 事業内容

- (1) 会報を通じて、全国の家庭科教育の研究活動を知らせ合い、家庭科教育の充実を図る。
- (2) 全国小学校家庭科教育研究会の活動の様子を関係諸機関へ知らせ会報発行計画を練る。

2 事業計画

- 4月・理事総会準備等
- 5月・会報の構成の検討
 - ・原稿依頼者の検討と承諾の確認
- 6月・原稿依頼
 - ・出版社「絢文社」との連絡
- 7月・会報第1号の発行に向けての準備
 - ・会報第1号発行
- 8月・会報第1号発送
 - ・全国大会準備
 - ・夏期事務局研修会
- 10月・全国小学校家庭科教育研究大会最終打ち合わせ
 - ・会報第2号の構成検討
- 11月・原稿依頼者の検討と承諾の確認、原稿依頼
 - ・「全国大会参加者の声」の原稿依頼を授業会場校に依頼
- 12月・会報第2号発行に向けての準備
- 2月・会報第2号発行・発送
- 3月・次年度理事総会準備
 - ・広報部事業計画案準備

3 会報発行

○発行計画

令和6年度 第1号 (No.165) 9月1日発行
A4版16ページ 1,500部

- ①会長挨拶
- ②理事総会報告
- ③家庭科指導者研修会概要
- ④令和5年度 役員退任挨拶／令和5年度 役員就任挨拶・事務局紹介
- ⑤各部活動計画（庶務／調査研究／広報／研究紀要／渉外／決算報告・予算案）
- ⑥令和6年度 役員・地方理事名簿
- ⑦各地区研究発表会案内
- ⑧令和6年度 全国大会 三重大会案内
- ⑨シリーズ「授業」
- ⑩令和7年度 全国大会 徳島大会案内
- ⑪全小家研 入会のすすめ

令和6年度 第2号 (No.166) 2月1日発行
A4版16ページ 1,500部

- ①会長挨拶
- ②令和6年度 全国大会 三重大会報告 全体会の内容（会長挨拶／大会実行委員長挨拶／指導講評）
- ③常任理事会報告
- ④大会宣言
- ⑤分科会報告
- ⑥全国大会参加者の声
- ⑦各地区研究だより
- ⑧シリーズ「授業」
- ⑨令和7年度 全国大会 徳島大会案内
- ⑩令和6年度 年会費納入状況

令和5年度 決算報告

1 収入の部

収入総額 1,649,073円 単位(円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	予算比較(△不足)
会費	1,500,000	1,557,000	57,000
繰越金	92,069	92,069	0
利子	4	4	0
合計	1,592,073	1,649,073	57,000

2 支出の部

支出決算額 1,368,551円 単位(円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	予算比較(△不足)
1 運営費(1)+(2)	140,000	97,945	42,055
(1) 会議費	30,000	15,730	14,270
① 役員費	20,000	15,730	4,270
② 事務局費	10,000	0	10,000
(2) 需用費	110,000	82,215	27,785
③ 消耗品	8,000	0	8,000
④ 印刷	0	0	0
⑤ 通信運搬	100,000	82,215	17,785
⑥ 事務用品	2,000	0	2,000
2 事業費(3)+(4)	1,080,000	1,109,070	△ 29,070
(3) 大会費	520,000	500,330	19,670
⑦ 大会費	20,000	330	19,670
⑧ 開催費	500,000	500,000	0
(4) 研究活動	560,000	608,740	△ 48,740
⑨ 調査研究	150,000	238,040	△ 88,040
⑩ 会報	400,000	370,700	29,300
⑪ 研究紀要	10,000	0	10,000
3 渉外費	150,000	82,116	67,884
4 交通補助	0	0	0
5 予備費	222,073	79,420	142,653
合計	1,592,073	1,368,551	223,522

3 残額の部

残額 280,522円 単位(円) 次年度に繰越

総収入	1,649,073
総支出	1,368,551
残額	280,522

上記の通り報告致します。

令和6年5月17日

会長 加園 正子 ⑩省略
 会計部長 石神みさ都
 会計副部長 奥澤 弘子
 会計監査 村上 律子
 (県理事)

上記の通り相違ありません。

令和6年度 会計予算

1 収入の部

収入予算額 1,780,526円 単位(円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	前年度との予算比
会費	1,500,000	1,557,000	1,500,000	0
繰越金	92,069	92,069	280,522	188,453
利子	4	4	4	0
合計	1,592,073	1,649,073	1,780,526	188,453

2 支出の部

予算額 1,780,526円 単位(円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	前年度との予算比
1 運営費	140,000	97,945	135,000	△ 5,000
(1) 会議費	30,000	15,730	25,000	△ 5,000
① 役員費	20,000	15,730	20,000	0
② 事務局費	10,000	0	5,000	△ 5,000
(2) 需用費	110,000	82,215	110,000	0
③ 消耗品	8,000	0	8,000	0
④ 印刷	0	0	0	0
⑤ 通信運搬	100,000	82,215	100,000	0
⑥ 事務用品	2,000	0	2,000	0
2 事業費	1,080,000	1,109,070	1,200,000	120,000
(3) 大会費	520,000	500,330	520,000	0
⑦ 大会費	20,000	330	10,000	△ 10,000
⑧ 開催費	500,000	500,000	500,000	0
(4) 研究活動	560,000	608,740	680,000	120,000
⑨ 調査研究	150,000	238,040	250,000	100,000
⑩ 会報	400,000	370,700	420,000	20,000
⑪ 研究紀要	10,000	0	10,000	0
3 渉外費	150,000	82,116	120,000	△ 30,000
4 交通補助	0	0	0	0
5 予備費	222,073	79,420	325,526	103,453
合計	1,592,073	1,368,551	1,780,526	188,453



令和6年度 全国小学校家庭科教育研究会名簿

◇令和6年度 役員名簿

No.	役職名	氏名	勤務校		
			校名・所在地	☎	FAX
1	会長	高野 正之	練馬区立練馬東小学校 〒179-0074 練馬区春日町1-30-11 takano.masayuki@nerima-tky.ed.jp	03 (3990) 1094	03 (3577) (7989)
2	東京	加園 正子	練馬区立南田中小学校 〒177-0035 練馬区南田中5-15-37 kasono.masako@nerima-tky.ed.jp	03 (3997) 1147	03 (3997) 2474
3	副 会 長	R6開催地 長崎 雅子	四日市市立中央小学校 〒510-0095 三重県四日市市元新町2-36 chuo-eteacher@city.yokkaichi.mie.jp	059 (353) 9279	059 (359) 0108
4		R7開催地 森下 稲子	阿南市立津乃峰小学校 〒774-0021 徳島県阿南市津乃峰町 戎山129-37 morishita_inako_1@g.tokushima-ec.ed.jp	0884 (27) 0227	0884 (27) 1172
5		R8開催地 金城 保代	名護市立大北小学校(教頭) 〒905-0019 沖縄県名護市大北4-19-37 ookita-s@school.city.nago.okinawa.jp	0980 (53) 1648	0980 (54) 3224
6		R9開催地 村上 律子	文京区立青柳小学校 〒112-0012 文京区大塚5-40-18 aoayagi.ps@bunkyo-tky.ed.jp	03 (3947) 2471	03 (3947) 2045
7	査	R10開催地 川越 浩子	盛岡市立巻堀小学校 〒028-4123 岩手県盛岡市巻堀 字巻堀12-1 a45019@morioka.ed.jp	019 (682) 0303	019 (682) 2304
8	北海道 東北	今井不二子	三春町立御木沢小学校 〒963-7761 福島県田村郡三春町 字樋ノ口111 head.ogisawa-e@fcs.ed.jp	0247 (62) 3368	0247 (62) 3384
9	関東 甲信越	那花 恭子	上三川町立明治小学校 〒329-0525 栃木県上三川町大山524 meiji-e@kaminokawa-tcg.ed.jp	0285 (53) 0070	0285 (53) 0124
10	東京	村上 律子	文京区立青柳小学校 〒112-0012 文京区大塚5-40-18 Ritsuko_Murakami@city.bunkyo.lg.jp	03 (3947) 2471	03 (3947) 2045
11	東北 海陸	長崎 雅子	四日市市立中央小学校 〒510-0095 三重県四日市市 元新町2-36 chuo-eteacher@city.yokkaichi.mie.jp	059 (353) 9279	059 (359) 0108
12	近畿	上田 昌宏	大阪市立大領小学校 〒558-0001 大阪市住吉区大領3-3-5 s2109@education.city.osaka.jp	06 (6694) 1100	06 (6694) 4822
13	中国 四国	岡本 律子	湯梨浜町立泊小学校 〒689-0601 鳥取県東伯郡湯梨浜町泊280 okamoto_rt@g.torikyo.ed.jp	0858 (34) 2692	0858 (34) 2693
14	九州	花園 裕子	宮崎市立佐土原小学校 〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島 1350-9 sadowara-s-00@mcnet.ed.jp	0985 (74) 1133	0985 (74) 1461
15	理事	庶務部長 松橋 尚子	大田区立嶺町小学校 〒145-0076 大田区田園調布南6-10 minemachi-es1@ota-school.ed.jp	03 (3758) 2277	03 (3758) 2279
16	研究調査 部長	内田かほ里	東久留米市立第六小学校 〒203-0003 東久留米市金山町1-17-1 dai6-e-head@jcom.home.ne.jp	042 (471) 5370	042 (472) 7984
17	広報部長	酒井 由江	豊島区立清和小学校 〒170-0002 豊島区巢鴨3-14-1 yoshie-e01-sakai@city.toshima.ed.jp	03 (3918) 2605	03 (5394) (1003)
18	研究紀要 部長	本庄 則子	横浜市立岸谷小学校 〒230-0078 横浜市鶴見区岸谷1-6-1 no02-honjo@city.yokohama.jp	045 (581) 3301	045 (585) 9473
19	渉外部長	岩崎 直美	町田市立高ヶ坂小学校 〒194-0014 町田市高ヶ坂6-7-1 e-kougasaka-p@gs.machida-tky.ed.jp	042 (725) 4295	042 (721) 4268
20	会計部長	石神みさ都	文京区立指ヶ谷小学校 〒112-0001 文京区白山2-28-4	03 (3811) 6005	03 (5689) 4548

◇令和6年度 地方理事名簿

No.	役職名	氏名	勤務校		
			校名・所在地	☎	FAX
1	北海道	近 香奈子	札幌市立手稲宮丘小学校 〒063-0053 札幌市西区宮の沢3条 2丁目1-1 kanako.kon@city.sapporo.jp	011 (661) 7393	011 (661) 9468
2	札幌市	近 香奈子	同上		
3	北 海 道	青森県 本宮 共子	八戸市立白銀小学校 〒031-0822 青森県八戸市大字白銀町 字大久保道1-1 sirogn_e@hec.hachinohe.ed.jp	0178 (33) 1021	0178 (32) 1032
4	岩手県	川越 浩子	盛岡市立巻堀小学校 〒028-4123 岩手県盛岡市巻堀字巻堀 12-1 a45019@morioka.ed.jp	019 (682) 0303	019 (682) 2304
5	宮城県	鳩原 淳子	仙台市立東六番丁小学校 〒980-0004 仙台市青葉区宮町1-2-1 junko_hatohara@sendai-c.ed.jp	022 (222) 4216	022 (714) 8609
6	仙台市	見田 佳代	仙台市立若林小学校 〒984-0826 仙台市若林区若林4-3-1 wakabaya@sendai-c.ed.jp	022 (286) 2735	022 (294) 1506
7	北 秋田県	楢岡 瑞穂	秋田市立中通小学校 〒010-0001 秋田県秋田市中通五丁目 8-22 naraoka-mizuho@edu.city.akita.akita.jp	018 (833) 4341	018 (834) 1919
8	山形県	粕谷 温子	鶴岡市立朝陽第二小学校 〒997-0801 山形県鶴岡市東原町25-1 a2ko@school.city.tsuruoka.yamagata.jp	0235 (22) 7755	0235 (22) 7754
9	福島県	今井不二子	三春町立御木沢小学校 〒963-7761 福島県田村郡三春町 字樋ノ口111 head.ogisawa-e@fcs.ed.jp	0247 (62) 3368	0247 (62) 3384
10	茨城県	鈴木 利佳	筑西市立小栗小学校 〒309-1101 茨城県筑西市小栗5545 552120@sch.ibk.ed.jp	0296 (57) 3411	0296 (57) 3639
11	栃木県	那花 恭子	上三川町立明治小学校 〒329-0525 栃木県上三川町大山524 meiji-e@kaminokawa-tcg.ed.jp	0285 (53) 0070	0285 (53) 0124
12	群馬県	長沼 祐子	伊勢崎市立あずま南小学校 〒379-2235 群馬県伊勢崎市三室町 4290 naganuma.yuko@isesaki-school.ed.jp	0270 (62) 0132	0270 (62) 0564
13	埼玉県	井上 春香	川口市立戸塚南小学校 〒333-0817 川口市戸塚南4-10-1 chi.inoue@city.kawaguchi.lg.jp	048 (290) 6032	048 (290) 6133
14	さいたま市	金子明日香	さいたま市立上落合小学校 〒338-0001 さいたま市中央区上落合 4-14-24 kamiuchia-es-02@city.saitama.jp	048 (852) 5381	048 (852) 0150
15	千葉県	大庭 通代	千葉市立鶴沢小学校 〒260-0003 千葉市中央区鶴沢町21-1 michiyo6954@city.chiba.lg.jp	043 (227) 7576	043 (222) 9687
16	甲 千葉市	大庭 通代	同上		
17	信 神奈川県	本庄 則子	横浜市立岸谷小学校 〒230-0078 横浜市鶴見区岸谷1-6-1 no02-honjo@city.yokohama.jp	045 (581) 3301	045 (585) 9473
18	越 横浜市	保科 桂子	横浜市立藤の木小学校 〒232-0061 神奈川県横浜市南区 大岡4-10-1 ke01-hoshina@city.yokohama.jp	045 (731) 0606	045 (713) 7916
19	川崎市	中尾由美子	川崎市立橋小学校 〒213-0022 川崎市高津区千年1024 t2004860@kawasaki-edu.ed.jp	044 (766) 4503	044 (799) 9304
20	相模原市	平 和枝	相模原市立田名北小学校 〒252-0244 相模原市中央区田名 1932-1 hira509@sgw.sagamihara-kng.ed.jp	042 (761) 2627	042 (762) 8099
21	山梨県	渡辺 政子	笛吹市立御坂東小学校 〒406-0813 山梨県笛吹市御坂町 上黒駒1692 watanabe-qrn@es-jhs.kai.ed.jp	055 (264) 2014	055 (264) 2706

No	役職名	氏名	勤務校			
			校名・所在地	☎	FAX	
22	関東・甲信越 長野県	末石 円	長野市立共和小学校 〒381-2235 長野県長野市篠ノ井小松原600	026 (292) 0199	026 (261) 1436	
			kyowajs_koutyou@nagano-ngn.ed.jp			
23	新潟県	見原 恵	村上市立神納小学校 〒950-0088 新潟市中央区万代1-3-30 3階 小学校教育研究会事務局 藤本様方	025 (290) 2231	025 (245) 6060	
24	東京	東京都	村上 律子	文京区立青柳小学校 〒112-0012 文京区大塚5-40-18	03 (3947) 2471	03 (3947) 2045
25	富山県	斉藤 紀子	富山市立水橋中部小学校 〒939-0509 富山県富山市水橋町568	076 (478) 0103	076 (478) 4516	
26		石川県	松原 靖子	金沢市立兼六小学校 〒920-0931 石川県金沢市兼六元町7番15号	076 (231) 7279	076 (232) 0515
27	東海	福井県	前田 朋子	福井市日新小学校 〒910-0017 福井市文京5-25-30	0776 (22) 0033	0776 (22) 6478
28	静岡県	片岡 明実	焼津市立和田小学校 〒425-0052 静岡県焼津市田尻541	054 (624) 4507	054 (623) 5855	
29		浜松市	坪井百合子	浜松市立追分小学校 〒432-8012 静岡県浜松市中央区布橋1-9-1	053 (472) 1281	053 (472) 1282
30	北陸	愛知県	西條かすみ	みよし市立南部小学校 〒470-0214 愛知県みよし市明知町上細口27番地	0561 (32) 1062	0561 (34) 6122
31	陸	名古屋市	板倉 真代	名古屋市立平和小学校 〒460-0021 名古屋市中区平和1-14-3	052 (321) 0080	052 (322) 7362
32	岐阜県	村瀬 真実	郡上市立白鳥小学校 〒501-5121 岐阜県郡上市白鳥町白鳥10-2	0575 (82) 3144	0575 (83) 0046	
33		三重県	長崎 雅子	四日市市立中央小学校 〒510-0095 三重県四日市市元新町2-36	059 (353) 9279	059 (359) 0108
34	滋賀県	山本富美子	日野町立桜谷小学校 〒529-1619 滋賀県蒲生郡日野町佐久良37	0748 (52) 0338	0748 (52) 8713	
35	京都府	神村美貴子	久御山町立御牧小学校 〒613-0025 京都府久世郡久御山町相島曾根19	075 (631) 2275	075 (631) 0046	
36	京都市	中村 薫	京都市立祥栄小学校 〒601-8344 京都市南区吉祥院蔭町14	075 (681) 1556	075 (681) 1557	
37		近畿	大阪府	長岡 裕子	豊中市立豊島小学校 〒561-0858 大阪府豊中市服部西町3丁目6-5	06 (6863) 6025
38	大阪府	大阪市	上田 昌宏	大阪市立大領小学校 〒558-0001 大阪市住吉区大領3-3-5	06 (6694) 1100	06 (6694) 4822
39	兵庫県	中野裕香子	明石市立貴崎小学校 〒673-0037 兵庫県明石市貴崎5-5-52	078 (918) 5685	078 (918) 5686	
40	畿	神戸市	野田 美保	神戸市立池田小学校 〒653-0824 兵庫県神戸市長田区池田上町19	078 (691) 1661	078 (691) 1662
41	奈良県	吉田 聖子	橿原市立香久山小学校 〒634-0012 奈良県橿原市膳夫町98-1	0744 (22) 3107	0744 (22) 8830	
42	和歌山県	和田 佳世	和歌山市立直川小学校 〒640-8481 和歌山県和歌山市直川1253	073 (461) 0134	073 (461) 0164	
43	鳥取県	岡本 律子	湯梨浜町立泊小学校 〒689-0601 鳥取県東伯郡湯梨浜町泊280	0858 (34) 2692	0858 (34) 2693	

No	役職名	氏名	勤務校			
			校名・所在地	☎	FAX	
44	島根県	別所 由紀	大田市立朝波小学校 〒699-2211 島根県大田市波根町15	0854 (85) 8704	0854 (85) 8714	
45	岡山県	溝口 篤	玉野市立大崎小学校 〒706-0226 岡山県玉野市東七区3-3	0863 (51) 1009	0863 (51) 1293	
46	岡山市	溝口 篤	同上			
47	中国	広島県	倉本 樹	府中町立府中中小学校 〒735-0014 広島県安芸郡府中町柳ヶ丘51-25	082 (281) 9414	082 (281) 9415
48		広島市	倉本 樹	同上		
49	四国	山口県	清水 聡美	周南市立遠石小学校 〒745-0816 山口県周南市遠石1-3-48	0834 (21) 0246	0834 (21) 2206
50		徳島県	森下 稲子	阿南市立津乃峰小学校 〒774-0021 徳島県阿南市津乃峰町或山129-37	0884 (27) 0227	0884 (27) 1172
51	香川県	作花 志保	綾川町立昭和小学校 〒761-2101 香川県綾歌郡綾川町畑田2373-1	087 (877) 0519	087 (877) 1404	
52		愛媛県	秋山 恵美	今治市立立花小学校 〒794-0821 愛媛県今治市立花町4-3-45	0898 (22) 0185	0898 (25) 0034
53	高知県	宇佐美佳枝	いの町立吾北小学校 〒781-2322 高知県吾川郡いの町小川西津賀才553	088 (868) 2361	088 (850) 5501	
54	福岡県	今林 洋江	福岡市立照葉小中学校 〒813-0017 福岡市東区香椎葉2-2-1	092 (681) 1310	092 (681) 1311	
55	福岡市	篠原 裕子	福岡市立那珂南小学校 〒812-0877 福岡県福岡市博多区元町3-1-1	092 (581) 0208	092 (581) 6035	
56	北九州市	中尾みどり	北九州市立萩ヶ丘小学校 〒800-0015 北九州市門司区寺内2-7-1	093 (381) 4631	093 (381) 4632	
57	佐賀県	熊本由美子	白石町立福富小学校 〒849-0401 佐賀県杵島郡白石町大字福富3410-2	0952 (87) 3126	0952 (87) 3396	
58	九州	長崎県	米村 郁子	長崎市立朝日小学校 〒852-8006 長崎市平戸小屋町10番1号	095 (861) 8773	095 (861) 2490
59		大分県	原田 悦子	豊後大野市立三重東小学校 〒879-7104 大分県豊後大野市小坂3959番地	0974 (22) 0148	0974 (22) 7074
60	熊本県	古家 慎也	熊本市立川上小学校 〒861-5516 熊本市北区西梶尾町480番地	096 (245) 0018	096 (275) 2078	
61	熊本市	古家 慎也	同上			
62	宮崎県	花園 裕子	宮崎市立佐土原小学校 〒880-0301 宮崎市佐土原町上田島1350-9	0985 (74) 1133	0985 (74) 1461	
63	鹿児島県	遠矢 美緒	南九州市立大丸小学校 〒897-0131 鹿児島県南九州市川辺町上山田7607	0993 (57) 2517	0993 (57) 2274	
64	沖縄県	金城 保代	名護市立大北小学校(教頭) 〒905-0019 沖縄県名護市大北4-19-37	0980 (53) 1648	0980 (54) 3224	

自らの生活を豊かに創造する子供の育成

横浜市小学校家庭科研究会 横浜国立東小学校
教諭 大田 桃可

I 研究主題設定の理由

未来を担う子供たちには、変化の大きい時代をたくましく生き抜くために、未知の課題にも積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことが求められる。こうした学びの源となるのは、子供の学びに向かう力であり、これを引き出すためには、日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定できるように、子供たちの学びへの興味や関心を高める必要がある。そして、様々な問題に対して状況に応じた最適な解決方法を探り出すとする子供の姿を目指し、家庭生活を大切にすることを育み、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する能力と、実践的な態度や豊かな人間性を育てることへの強い願いと期待を込め、本研究主題を設定した。

II 育てたい子供の姿

- 日常生活に活用できる基礎的な知識及び技能を身に付けている子供
- 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決方法を考え、考えたことを表現できる子供
- 家族や地域の人々と関わりながら家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し、実践する子供

III 授業実践

1 題材名 第材名 第6学年

「家族のためにつくろう 1食分の献立」
「～家庭実践編～」(全6時間)

2 題材について

本題材は、「B衣食住の生活」の(1)「食事の役割」アイ、(2)「調理の基礎」アウイ、(3)「栄養を考えた食事」アウイについて家庭の昼食との関連を図って題材を構成している。「家族や身近な人に自分で〇〇ご飯が作れるようになろう」という課題を設定し、その解決に向けて、1食分の献立における調理方法や工夫を身に付け、それらを生かして実践し、評価・改善する構成となっている。〇〇には、各家庭の実態に合わせて、朝、昼、夜と児童自身が実践できたり、実践したりしたい時間帯を設定することとしている。

3 題材の目標

- ・調理に必要な材料の分量や手順、味の付け方について理解すると共に、それらに係る技能を身に付ける。
- ・1食分の献立の調理について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法やその工夫を考え、評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、1食分の献立の調理について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

4 研究の視点と内容

視点1 資質能力を育むカリキュラムマネジメント

児童が基礎的な知識・技能を身に付けることをねらいとし、1食分の献立作成に繰り返し取り組むことができるよう題材を構成した。また、必要感をもって学習に取り組むことをねらいとし、全校児童に食べてもらいた

い1食分の献立、家族に食べてもらいたい1食分の献立を立てるように題材を構成し、相手意識が明確になるようにした。この題材の前に学習した「家族のためにつくろう 1食分の献立 ～給食プロジェクト編～」では、献立を作成する要素や献立構成の方法を知り、栄養素だけでなく、旬や彩り、相手の好みを工夫しながら、全校児童がおいしく食べられて元気になるような献立を作成した。そして本題材では、これまでの食の題材の総括として、給食プロジェクト編で身に付けた力を基に、各家庭の実態に合った献立作成と調理実践を行った。

視点2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導と評価の工夫

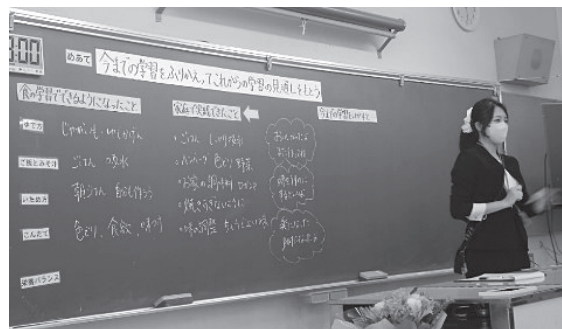
友達と献立や手順のよいところを伝え合うことで、児童が家庭での実践意欲を高め、家庭科での実践を通して自己有用感を得られるようにした。また、自分の考えを十分に言葉で表現できない児童に対しては、話し方の型を提示するなど、全員が安心して発表ができるよう支援し、他者との関わりを通して児童が自分の考えを広げ、見通しや振り返り、新たな課題発見を深めることを大切にした。

視点3 誰もが安心して豊かに学ぶための今日的な課題への対応

児童が多様な食文化を背景にして生活していることを踏まえて、各家庭における食文化の違いを尊重できるように献立を作成した。その際には、主食をご飯、みそ汁に限定せず各家庭に合わせた主食、汁物で献立を立てるように指導した。授業や調理の場で用いる言葉については、実感を伴って理解することができるよう、国際教室との連携やICTの活用で学びを深めた。

5 成果と課題

- ◎写真やポートフォリオ等で児童が自らの学びの足跡を振り返り、自分の成長を改めて実感することで、最後の食の学習に対する意欲を高め、一人一人が課題を設定することができた。
- ◎多様な食文化の背景を踏まえ、各家庭の実態に合わせて、「家庭の味」を大切に、実践する時間を選択できるようにして献立を立てることによって、より必然性があり、家族への思いを高めることにつながった。
- ◎一人1調理では、同時に様々なことを考えて効率よく調理できるよう児童の実態に応じて調理の手順を理解するための支援が必要である。



第61回 全国小学校家庭科教育研究会全国大会 三重大会

第61回全国小学校家庭科教育研究会全国大会三重大会を下記要領にて開催いたします。

つきましては、家庭科教育の一層の充実、発展のため、多くの皆様にご参観いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

- 1 大会主題 『豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育』
- 2 研究主題 「ともに生きる生活者の育成をめざして」
- 3 主催 全国小学校家庭科教育研究会 東海・北陸地区小学校家庭科教育研究会
三重県小学校家庭科教育研究会
- 4 後援 文部科学省 三重県教育委員会 亀山市教育委員会
四日市市教育委員会 桑名市教育委員会 津市教育委員会
鈴鹿市教育委員会 松阪市教育委員会 伊勢市教育委員会
全国連合小学校長会 三重県小中学校長会 亀山市小中校長会
- 5 期日 令和6年11月22日(金)
- 6 会場 〈公開授業校および会場校全体会〉
亀山市立亀山西小学校 亀山市本丸町585
TEL 0595-82-0139 JR亀山駅下車 徒歩12分
〈全体会場〉
亀山市文化会館 亀山市東御幸町63
TEL 0595-82-7111 JR亀山駅下車 徒歩7分

7 参加費・参加申込

会場参加 5,000円 資料参加 3,500円

全国小学校家庭科研究会のホームページよりWebサイトにアクセスしてお申し込みください。掲載予定は8月上旬、申込締切は10月10日(木) 予定です。



全小教研HP

8 公開授業

亀山西小学校

9:00	9:30	10:30	10:40	11:30
受付	公開授業 授業Ⅰ 9:30~10:15 授業Ⅱ 9:45~10:30	移動	会場校全体会 全体協議・指導助言	

学年・組	題 材 名	授 業 者
公開授業Ⅰ		
5年2組	生活を支えるお金と物	森 明都沙
5年1組	暖かく快適に過ごす着方	黒川 晶太
6年1組	持続可能な社会を生きる	藪内 一希
公開授業Ⅱ		
5年3組	暖かく快適に過ごす着方	原田 良亮
6年2組	共に生きる地域での生活	藤尾 いずみ
6年3組	共に生きる地域での生活	後藤 拓真

授業録画放映 授業者解説 協議	
亀山市立川崎小学校における家庭科の実践報告 z	亀山市立川崎小学校 教諭 篠谷 晴香
三重大学教育学部附属小学校 令和5年度6年生 「プログラミング的思考で推しの一食分調理にチャレンジ」	三重大学教育学部附属小学校 教諭 堀切 紋子

指導講評 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
 国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部教育課程調査官
 熊谷 有紀子 様

三重大学教育学部 家政教育講座 准教授
 博士（学校教育学） 村田 晋太郎 様
 亀山市教育委員会 指導主事 水谷 剛 様

9 全体会

亀山市文化会館

11:30	13:30	15:15	16:15	16:30
昼食・移動 受付	開会行事	調査報告・全国地区研究発表	全体指導	閉会行事

〈地区研究発表〉

発表地区	研究主題（予定）	発表者（予定）
東 京	よりよい生活を自ら創り出す子供の育成 確かな生活力を育む ～体験から経験へ、経験から習慣へ～	江戸川区立第四葛西小学校 主任教諭 佐古真由美 江戸川区立宇喜田小学校 主任教諭 橋本 英明
北海道・東北 (福島県)	(調整中)	(調整中)
近 畿 (滋賀県)	豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育 ～「ふれ愛」を大切に、「よりよい生活」を 工夫する子供の姿を求めて～	日野町立桜谷小学校 校長 山本富美子 野洲市立北野小学校 教頭 横原 朱美
関東・甲信越 (群馬県)	自らの生活を見つめ、生活をよりよくしようと 工夫し実践できる児童の育成	高崎市立岩鼻小学校 教諭 岡本 貴子 玉村町立南小学校 教諭 中里 美穂
中国・四国 (高知県)	思いや願いをもって、楽しみながら 家庭生活を創造する子供を目指して	高知大学教育学部附属小学校 教諭 中山由美子 教諭 堀地さくら
九 州 (鹿児島県)	生活をよりよくする工夫を見だし、 自ら生活に生かすことのできる学習指導の充実	鹿児島市立名山小学校 教諭 眞邊 笑子

全体指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 熊谷有紀子 様

〈問い合わせ先〉 三重大会実行委員長 四日市市立中央小学校長 長崎 雅子
 〒510-0095 四日市市元新町2-36
 TEL 059-353-9279 FAX 059-359-0108
 E-mail chuo-eteacher@city.yokkaichi.mie.jp

令和7年11月21日(金)

第62回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 徳島大会のご案内

- 1 研究主題 「自らよりよい生活を創り出そうとする子供の育成」
- 2 主催 全国小学校家庭科教育研究会 中国四国小学校家庭科教育研究会
徳島県小学校教育研究会家庭部会 徳島市小学校家庭科教育研究会
- 3 後援 文部科学省 徳島県教育委員会 徳島市教育委員会
(予定) 全国連合小学校長会 徳島県小学校長会 徳島市小学校長会
- 4 日程 令和7年11月21日(金) 公開授業・全体会

【第1会場】佐古小学校

8:50	9:20	9:50	10:05	10:50	11:00	11:30
受付	会場校全体会 I 実践発表	休憩・移動	公開授業	休憩・移動	会場校全体会 II 指導講評	

【第2会場】八万小学校

8:30	9:00	9:45	10:00	11:00
受付	公開授業	休憩・移動	会場校全体会 実践発表・指導講評	

【全体会場】あわぎんホール

12:40	13:10	13:40	15:10	16:10	16:30
受付	開会行事	地区研究発表・研究協議	全体指導	閉会行事	

- 5 会場 第1会場 徳島市佐古小学校 徳島市南佐古四番町1番32号
(市バス佐古五番町下車約300m)
第2会場 徳島市八万小学校 徳島市城南町4丁目1-52 (JR二軒屋駅下車約600m)
全体会場 あわぎんホール 徳島市藍場町2丁目14
(徳島駅下車徒歩約8分)
- 6 全体指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 熊谷 有紀子 氏
- 7 参加費 5,000円(資料のみ3,000円) 検討中

〈問い合わせ先〉 徳島県小学校教育研究会家庭部会 会長 阿南市立津乃峰小学校長 森下 稲子
〒774-0042 徳島県阿南市津乃峰町戎山129-37 TEL 0884-27-0227 FAX 0884-27-1172
E-mail morishita_inako_1@g.tokushima-ec.ed.jp

◆全国小学校家庭科教育研究会(全小家研)入会のすすめ◆

全国小学校家庭科教育研究会(全小家研)は、昭和38年に全国組織の研究団体として発足いたしました。以来、毎年全国大会を開催、お互いに研究を交換し、家庭科教育の充実に努めてまいりました。小学校家庭科は教育課程の中で重要な役割を果たすものであり、一層の充実・発展を期し、この会を盛り上げて参りたいと存じます。本年度の継続をお願いすると共に、1名でも多くの会員を迎え、研究を推進する強力な団体として活躍できますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈入会申込先〉 〒112-0001 東京都文京区白山2-28-4 TEL: 03-3811-6005
文京区立指ヶ谷小学校 校長 石神みさ都 FAX: 03-5689-4548

《会費納入について》

- 会費は年1人、1,500円です。
1校から何名入会されても結構です。
- 会員には地区理事の先生を通して、年2回、会報を配布します。

- 会費は各地区まとめて以下の口座に送付いただいております。期日内の送付をお願いいたします。
- 秋の常任理事会及び会報で納入状況の報告をいたします。
- 手数料のご負担をお願いしています。

三菱UFJ銀行 王子駅前支店
店番 763 普通貯金 口座番号 0041823
全国小学校家庭科教育研究会 会計 奥澤 弘子

編集後記 今年度は、全国大会が三重県亀山市で行われます。「ともに生きる生活者の育成をめざして」を研究主題に、長崎雅子研究会長の元、三重県亀山市が一丸となって発表の準備を進めていらっしゃいます。多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。ご多用のところ、本号の発行にご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。(広報部長 酒井 由江)